

令和3年度 協働事業提案成案化採否概要

No.	提案者	事業名／事業概要（提案企画書から転記）	市民協働推進会議から市への意見	採否	採否理由及び条件	担当部署
1	特定非営利活動法人 クラーク博士別れの地・久蔵の里普及促進会	<p>『クラーク精神普及事業』</p> <p>当会は、札幌農学校（現北海道大学）の初代教頭ウイリアム・スミス・クラーク博士が、1877年（明治10年）4月16日アメリカへ帰国の際に、現在の「国指定史跡旧島松駅通所」がある島松沢で見送りに来た学生や職員たちとの別れで『青年よ、大志を抱け（Boys, be ambitious）』の名言を残し旅立ちました。この別れの言葉「Boys, be ambitious」の真意（クラーク精神）を史実として正確に北広島市の子供たちに伝えるため、当会の事業の一つとして北広島市の小中学校へ出向き、児童・生徒への普及講話活動を行っております。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・郷土愛を育むのに良い事業 ・学校教育の中での実現可能性に疑問と課題 ・市と協働でなくても、今のままでよいのではないか ・具体的な計画性が不透明 	不採用	<p>【不採用理由】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民協働推進会議における意見では、「学校教育の中での実現可能性に疑問と課題」「具体的な計画性が不透明」との意見があった。 ・事業の成案化に向けては学校教育の中で行うことの必要性について整理が必要なことや、学校の授業へ組み込むことへの課題、市との協働で行うことの効果薄いなど、現状において一定程度の課題がある。 	教育部